

朝の礼拝

聖書 ルカによる福音書 10章 33-35節 (新約聖書127頁)

ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。「この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。」

Compassion is not for people

男女に関係なく、他人を好きか嫌いになるのは自分の感情です。私の思った通りの人か、理想の通りの人かどうかになります。しかし自分と同じ人はいません。だから自分の感情だけでなく、相手の立場になって思い、考えようとしています。

そして相手と向き合います。でもどんなに思いやり、考えても難しいことがあります。友だちが慰め、先生が励まし、親が心配しても解決しないこともあります。結局は自分自身です。自分が相手のことを想像し、考え、行動するかです。

特に共に困難と向き合っている時に、それがわかります。もう好き嫌いの感情の問題ではありません。お互いが同じ困難と向き合っている時、人間の本質、人間らしさが互いに助け合うように造られていると気づけるチャンスなのです。

試験が近づきました。勉強は人に言われてするものではなく、人と比較するためにするものでもありません。自分から、自分のための自由なものです。そして互いに教え合うことが学ぶ喜びだと気づける時です。自分の足で立ち、互いに助け合ってテストを楽しみましょう。

(しばらく黙祷しましょう)

すべての造り主、救い主である主よ、あなたは人を造られた時「あなたに合う助ける者を造ろう」と言われました。そしてサマリア人は追いはぎに襲われた人を見て憐れに思い、共に旅を続けました。今、トルコとシリアでは大地震が起き3万5千人以上の家族が犠牲となり、2千6百万人以上の被災者が寒さと飢えの中にあります。どうか私たちを導き、私たちがあなたに造られたものであることを気づく時としてください。また実力テスト、学期末テストが近づいてきました。どうかテストにのぞむ英和生の健康を守り、共にベストを尽くし、与えられた結果を謙虚に受けとめ、次の学びへの励ましとなるように導いてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン